

Title	彙報
Author(s)	
Citation	經濟論叢 (1940), 51(2): 264-266
Issue Date	1940-08
URL	http://hdl.handle.net/2433/131409
Right	
Type	Others
Textversion	publisher

會學濟經學大國帝都京

經濟論叢

號二第卷一十五第

月八年五十和昭

哀辭

故財部教授遺影署名及原稿

論叢

支那の農家負債と農地の抵押……………經濟學博士 八木芳之助
水産資源の保全について……………經濟學博士 蜷川虎三

時論

東亞新秩序建設と新國民政府^{の發展性}……………文學博士 矢野仁一

研究

民國初期の兌換券……………經濟學士 徳永清行
自由貿易主義の吟味……………經濟學士 岡倉伯士

記事

財部教授逝く

故財部教授年譜及著書論文目錄

追憶文

神戸正雄 本庄榮治郎 蜷川虎三
木村喜一郎 吳文炳 宗藤圭三
青盛和雄 松岡孝兒 石川興二
黒正巖 藤本幸太郎 谷口吉彦
岡崎文規

附錄

彙報

外國雜誌論題

彙報

經濟學部

○本學教授財部靜治氏は昭和十五年七月七日薨去せらる。

○故財部教授擔任一年必修科目統計學は蜷川教授の擔任と決定

○大學院入學許可(經濟學部所屬)

資源の經濟的研究

上杉正一郎

○本學部歐文紀要 (Kyoto University Economic Review) 第十五卷第三號は次の論稿を以て七月二十日に刊行された。(丸善發賣定價金壹圓)

The Basic Principles of the East Asian Synthesis

Professor K. Taniuchi

The Co-operative Movement under Wartime Economic Control

Professor Y. Yagi

A Study of the Character of Current Chinese Economy

Assistant Professor F. Hozumi

Notes

經濟學會

○六月例會 六月四日(火)午後六時より樂友會館に於て開催、次の報告があつた。

1 戰時出產の男女別

青盛和雄氏

先づ出產を出生と死産の二つに區別して統計學史上その男女別の割合如何が問題となつた所以を説明し、次に母の年齢と嫡出出生兒の性別に於ける推移、親の職業と男女出生の割合を日本内地人口動態統計に於て研究し、一般的に戸籍届出に依る方法では戰時出生の男性超過は属洩れの誤謬に原因することを證明し、最後に大阪府の出生統計に依れば、戰時に於ても別に男性超過せざる場合と、戰時に於て特に男性超過を示す場合とを擧げて、後者の場合の原因を死産率の低減と共に彌益す程度の死産に於ける性比(女百胎に付男の胎兒の割合)の減少に求められると論述し、最後に此際に於て男兒出生超過とは女兒に對する男兒の比例的關係に基いてのみ云はれ得ることであつて、決してジュースミルとの所謂の戰死者を償ふ爲の天の配劑ではなく問題は寧ろ戰時出產の減退に存することを指摘された。

二 國際航空事業の獨占的經營政策 小泉貞三氏

本來、すべて交通機關は夫々部分大若しくは、全體大に對する契機を有するものであるが、就中、近代に於て最も發達したる航空機は他の交通機關にも増して全體に對する契機を有する交通技術であると言ひうるであらう。然るに、國家資本は一方に於てかくの如き性質を有する交通技術を培養し、それを媒介として、國家自體の發展に供せしめんとしつゝある。こゝに明かに一つの矛盾が伏在する。この矛盾が第一次歐洲大戰後現今に至るまでの間、ヨーロッパ各國間に於ける國家の經濟的對立の環境に於て如何なる様相を以つて展開しつゝあるかを一、

彙

報

第五十一卷

二六五

第二號

一三一

同好會

五月四日(土) 午後六時より第一演習室に於て委員會開催、關係各教官及學生委員出席、昭和十四年度決算報告の承認及昭和十五年度豫算を議定し午後九時散會。

五月九日(木) 午後六時より樂友會館に於て本年度新入學生歡迎會を開催、谷口部長、中川、大塚、穗積、徳永、青山、松井、田杉、出口、鈴木、堀江の諸先生及會員百六十六名出席和氣藹々として歡談つきず午後十時盛會裡に閉會。

五月十八日(土) 大阪造幣局及電氣科學館見学、參加者出口先生及會員七十一名。

五月二十一日(火) 午後七時より樂友會館に於て中谷、佐波兩先生を囲んで「支那金融事情」に關する座談會を開く、參加會員五十餘名。